

巻頭言

レガシーを残そう!!



公益財団法人宮崎県体育協会
専務理事 佐多 裕之

平昌オリンピックが2月9日より開幕となり、日本選手団「チームジャパン」は金メダル4個銀メダル5個銅メダル4個 計13個と冬季オリンピックでの史上最多のメダルを獲得し、日本中の国民に夢と感動を与えてくれ、スポーツの持つ素晴らしさを改めて実感したオリンピック競技大会でした。

さて、本県では、平成38年の二巡目宮崎国体・障害者スポーツ大会が内々定し、いよいよ残りあと8年となりました。

二巡目国体のコンセプトは、健常者も障がい者も誰でも、スポーツを通して勇気と感動を呼び起こし、明るく元気にそして健康な「スポーツランドみやざき」を創成し、「する」「見る」「支える」スポーツ文化を興し、みんなが幸せになる国体・障害者スポーツ大会をとおして人材と施設設備と誇りを財産として残すことです。

今年度、国体準備室が開設され、開催に向けた気運がスポーツ関係者にも少しずつではありますが高まりつつあります。しかし残念ながら主要三施設の地方分散は競技団体の意向が叶わず、残念な結果となりました。今日のスポーツランドみやざきを標榜できるのも一巡目国体のレガシーがあったからではと推察されるのですが、二巡目国体がこのようなレガシーを残していくことを期待したい。スポーツで感動を共有したいという思いは誰にでもあり、県民が心から感動できるような二巡目国体・障害者スポーツ大会していかなければならない。そして何より大切なのは「第81回国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会」が「する」「みる」「ささえる」など（新しい学習指導要領改訂では「知る」を加え、スポーツとの多様な関わり方などを通して、スポーツの意義や価値に触れるように改善された。）何かの役割で大会に参加することで「おらが町」で開催してよかったと思えるものにしていかなければならない。国体の開催が一過性のものではなく、本県スポーツの更なる普及と発展に繋がっていかなければただのお祭りに終わってしまいます。

今後、佐藤会長のもとスポーツの普及・振興、県民の健康増進、競技力向上等を目指し、事務局一丸となって全力を尽くす所存でございます。

最後になりましたが本年度も宮崎県体育協会の事業推進のためにご協力・ご支援いただきました関係各位に厚く感謝を申し上げます。

**平成29年度
公益財団法人宮崎県体育協会 実施事業(11月～3月)**

11/ 7(火)	第2回企画委員会・競技力向上対策委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/ 9(木) ～10(金)	第2回九州地区体育協会連絡協議会	鹿児島サンロイヤルホテル
11/11(土)	WAP 第16回プログラム	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園内 青島青少年自然の家体育室
11/13(月)	九州ブロック大会冬季大会団旗授与式	県電ホール
11/15(水)	第2回総務委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/16(木)	WAP オーディション委員会②	教育庁共用会議室
11/20(月)	第2回普及委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/22(水)	第2回選手強化対策会議 国民体育大会表彰式・解団式	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
11/24(金)	第2回理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/25(土)	WAP 第17回プログラム	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園内 高鍋町総合体育館
11/26(日)	WAP 第18回プログラム (サントリーカップ:タグラグビー)	みやざき臨海公園サンマリーナ 多目的広場
11/27(月)	第2回スポーツ医・科学委員会	宮崎県医師会館
12/ 1(金) ～3(日)	九州ブロック冬季大会(アイスホッケー競技会)	福岡県立総合プールアイススケート場
12/ 2(土)	WAP 第19回プログラム	宮崎県体育館 日章学園高等学校
12/ 9(土)	WAP 第20回プログラム	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園内 日章学園高等学校
12/14(木)	チャレンジマッチ関係者打合せ会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 小会議室
12/16(土)	WAP 第21回プログラム	宮崎県体育館
12/16(土) ～17(日)	WAP 第3次オーディション	宮崎県体育館
1/ 6(土)	WAP 第22回プログラム(1期生のみ)	宮崎県体育館
1/14(日)	WAP 第22回プログラム(2期生のみ)	KIRISHIMA ヤマザクラ運動公園体育館
1/16(火)	WAP オーディション委員会③	教育庁入札室
1/17(水)	新春スポーツ関係者の集い	MRTmicc

1/20(土) ~21(日)	スポーツ少年団認定員養成講習会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 合宿所
1/22(月)	国体冬季大会結団壮行式	県庁講堂
1/23(火)	第3回スポーツ指導者協議会理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
1/27(土)	WAP 第23回プログラム	KIRISHIMA ヤマザクラ運動公園内
1/30(火) ~2/ 1(木)	国体冬季大会 (スケート)	山梨県甲府市: 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ
2/ 4(日)	WAP 第24回プログラム	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園内 青島青少年自然の家体育室
2/10(土)	スポーツ指導者研修会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
2/10(土)	WAP 第25回プログラム	県庁 7号館
2/15(木)	WAP 競技団体説明会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
2/18(日)	県民総合スポーツ祭 (スキー)	五ヶ瀬ハイランドスキー場
2/19(月)	第3回普及委員会・表彰委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
2/20(火)	第3回企画委員会・競技力向上対策委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
2/22(木)	第2回スポーツ少年団事務担当者会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
2/23(金)	第3回総務委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
2/25(日)	メディカルチェック報告会	野崎東病院
2/27(火)	WAP 第26回プログラム	宮崎県体育館・富田浜スポーツ交流センター 新富町体育館・富田浜漕艇場
2/25(日) ~2/28(水)	国体冬季大会 (スキー)	新潟県妙高市: 赤倉観光リゾートスキー場
3/ 1(木)	スポーツ少年団常任委員会・本部長会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室
3/ 2(金)	チャレンジマッチ競技・総務担当者会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
3/ 3(土)	WAP 第27回プログラム	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園内 新富町体育館・富田浜漕艇場
3/ 5(月)	第3回スポーツ医・科学委員会	県医師会館
3/ 7(水)	第3回理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
3/22(木)	臨時評議員会	KIRISHIMA ツワブキ武道館大会議室

※ WAP とは「ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」の略称です。

平成29年度公益財団法人宮崎県体育協会 スポーツ優秀賞・奨励賞(小中高生) 一覧 選手及び指導者

優秀賞 (団体)

競技名	団体名及び選手 ○は学年	大会名【主催団体名】	大会期日	成績
陸上競技	<<宮崎県中学校選抜チーム>> <小林市立三松中学校> ①滝口 俊人 <宮崎市立広瀬中学校> ③池下 航和 <宮崎市立大塚中学校> ②山村 息吹 <宮崎大学教育学部附属中学校> ③山内 優毅	第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会 ABC男子共通4×100mリレー 第2位 42秒52 宮崎県中学新記録 【公益財団法人日本陸上競技連盟】	H29.10.29	第2位
サッカー 競技	<日章学園中学校> ③山田 隆博 ③甲斐 太陽 ③岩倉 廉夢 ③的場 大翔 ③川越 央翔 ③鈴木 天己 ③橋倉 竜哉 ③山口 奏夢 ③小野 大斗 ③日吉 悠真 ②木脇 蓮苑 ③徳重 来輝 ②葭岡 遥来 ②橋 天飛磨 ②馬籠 康星 ③河野 翔 ①日高 隆樹 ②藤本 優希	第48回全国中学校サッカー大会 【公益財団法人日本中学校体育連盟】 【公益財団法人日本サッカー協会】	H29.8.18 ~ 23	第3位
柔道競技	<<宝道場>> <高鍋町立高鍋西小学校> ⑤荒川 琉正 <宮崎市立江平小学校> ⑥栗林 智也 <宮崎市立東大宮小学校> ⑥渡辺 そら <宮崎市立加納小学校> ⑥山本 咲奈 <宮崎市立江平小学校> ⑤木下勇之介	マルちゃん杯全日本柔道大会 【公益財団法人全日本柔道大会】	H29.9.24	第3位

ソフトテニス競技	<<宮崎県男子選抜チーム>> <宮崎市立宮崎西小学校> ⑤川崎 康平 <都城市立菓子野小学校> ⑤大山 瑠偉 <日南市立吾田東小学校> ⑥富山 陽太 <延岡市立南方小学校> ⑥峯田 智生 <都城市立江平小学校> ⑥永田 奏輝 <宮崎市立清武小学校> ⑥生駒 勇丞 <日南市立日南東郷小中学校> ⑥井戸川 惺 <串間市立有明小学校> ⑥井上 紘	第 34 回全日本小学生ソフトテニス選手権大会【公益財団法人日本ソフトテニス連盟】	H29.7.28 ~ 30	第 3 位
バスケットボール競技	< Panthers(延岡学園高等学校) > ③白川 万智 ③松村 美怜 ③神野 海	第 4 回 3x3U18 日本選手権【公益財団法人日本バスケットボール協会】	H29.12.15 ~ 17	準優勝

優秀賞 (個人)

競技名	氏名	所属	学年	大会名【主催団体名】	大会期日	成績
陸上競技	松岡 知紀	宮崎県立宮崎南高等学校	2年	第 11 回 U18 日本陸上競技選手権大会男子 400m 48 秒 16【公益財団法人日本陸上競技連盟】	H29.10.20	第 3 位
	岡本 光生	宮崎県立宮崎工業高等学校	2年	第 11 回 U18 日本陸上競技選手権大会女子円盤投 43m52【公益財団法人日本陸上競技連盟】	H29.10.22	第 3 位
	山内 優毅	宮崎大学教育学部附属中学校	3年	第 44 回全日本中学校陸上競技選手権大会男子 200m 21 秒 93 宮崎県中学校新記録【公益財団法人日本陸上競技連盟】	H29.8.21	第 3 位
				第 48 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 A 男子 200m 22 秒 21【公益財団法人日本陸上競技連盟】	H29.10.27	第 3 位
中富 優依	日向市立財光寺小学校	6年	第 33 回全国小学生陸上競技交流大会 6 年女子 100m 13 秒 03【公益財団法人日本陸上競技連盟】	H29.8.19	第 2 位	
相撲競技	岸本 はな	延岡市立東海東小学校	5年	第 3 回全国女子相撲選抜ひめじ大会 小学 5 年生 45kg 以上級【全日本相撲連盟】	H29.6.11	優勝
				第 8 回全日本女子相撲郡上大会 小学 5 年生 45kg 未満級【全日本相撲連盟】	H29.8.5	優勝
				第 29 回全日本小学生女子相撲大会 小学 5 年生 45kg 未満級【全日本相撲連盟】	H29.10.15	優勝
	黒木 萌音	延岡市立緑ヶ丘小学校	4年	第 8 回全日本女子相撲郡上大会 小学生 4 年生 以下 35kg 未満級【全日本相撲連盟】	H29.8.5 ~ 6	優勝
ボウリング競技	愛甲 雅治	宮崎大学教育学部附属小学校	6年	第 8 回全日本小学生ボウリング競技大会 6 年生の部【公益財団法人全日本ボウリング協会】	H29.8.5 ~ 6	第 3 位

サーフィン 競技	増田 来希	宮崎県立 富島高等学校	1 年	全日本級別サーフィン選手権大会 ボーイズクラス 【一般社団法人日本サーフィン連盟】	H29.5.12 ～ 14	準 優 勝
				最終国内ランキング		第 3 位
	加藤 里菜	クラーク記念国際 高等学校	2 年	最終国内ランキング		第 3 位
テニス 競技	大岐 優斗	宮崎市立加納小学校	6 年	ITF Asia 12&U Team Championships Finals 2017 男子チーム 【International Tennis Federation】	H29.11.5 ～ 11	優 勝
ソフトボール 競技	黒木 勝明	門川町立門川中学校	3 年	九州中学校体育大会第 29 回男子九州 中学校ソフトボール競技大会	H29.8.4 ～ 6	優 勝
				第 6 回アジア男子ジュニアソフトボール 選手権大会【アジアソフトボール連盟】	H29.11.1 ～ 5	優 勝
卓球競技	郡司 景斗	宮崎市立国富小学校	2 年	全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・パンピの部) パンピ男子シングルス(小学生2年生以下) 【公益財団法人日本卓球協会】	H29.7.28 ～ 30	第 3 位
柔道競技	荒川 琉正	高鍋町立 高鍋西小学校	5 年	第 14 回全国小学生学年別柔道大会 小学 5 年生 45kg級 【全日本柔道連盟】	H29.8.20	優 勝
空手道 競技	黒木 美衣奈	串間市立有明小学校	3 年	第 17 回全国少年少女空手道選手権大会 小学 3 年女子組手 【全日本空手道連盟】	H29.8.5 ～ 6	第 3 位
バドミントン 競技	串間 香美	宮崎市立赤江中学校	3 年	アジアジュニア U17&U15 選手権 2017 ダブルス【アジアバドミントン連盟】	H29.10.4 ～ 8	第 3 位

優秀賞 (指導者)

競技名	氏名	所属	大会名及び指導者
陸上競技	田原 義雄	宮崎市立大淀中学校	第 48 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 ABC 男子共通 4×100m リレー 第 2 位 宮崎県中学新記録 指導者
	日高 一慶	宮崎市立檜中学校	第 48 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 ABC 男子共通 4×100m リレー 第 2 位 宮崎県中学新記録 指導者
	田中 真二	宮崎県立宮崎南高等学校	第 11 回 U18 日本陸上競技選手権大会 男子 400m 第 3 位 指導者
	秋本 純男	宮崎県立宮崎工業高等学校	第 11 回 U18 日本陸上競技選手権大会 女子円盤投 第 3 位 指導者
	関本 和浩	宮崎大学教育学部附属中学校 (外部指導者)	第 44 回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子 200m 第 3 位 宮崎県中学校新記録 指導者
			第 48 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 A 男子 200m 第 3 位 指導者
河野 誠一	ひむか T&F	第 33 回全国小学生陸上競技交流大会 6 年女子 100m 第 2 位 指導者	
サッカー競技	花房 亮太	日章学園中学校	第 48 回全国中学校サッカー大会 第 3 位 指導者
	福島 将太	日章学園中学校	第 48 回全国中学校サッカー大会 第 3 位 指導者

相撲競技	岸本 武	延岡相撲道場	第3回全国女子相撲選抜ひめじ大会 小学5年生 45kg以上級 優勝 指導者
	岩尾 啓太	松恵山相撲道場	第8回全日本女子相撲郡上大会 小学5年生 45kg未満級 優勝 指導者
ボウリング競技	兼松 俊二	宮崎県ボウリング連盟	第8回全日本小学生ボウリング競技大会 6年生の部 第3位 指導者
テニス競技	小林 真吾	シーガイアテニスアカデミー	ITF Asia 12&U Team Championships Finals 2017 男子チーム 優勝 指導者
卓球競技	郡司 俊彦	公益財団法人宮崎市体育協会	全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部) バンビ男子シングルス(小学生2年生以下) 第3位 指導者
柔道競技	宝 実	宝道場	第14回全国小学生学年別柔道大会 小学5年生 45kg級 優勝 指導者
			マルちゃん杯全日本柔道大会 第3位 指導者
ソフトテニス 競技	鮫島 福弘	スターキッズ	第34回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 第3位 指導者
空手道競技	平田 慎也	緑勝会	第17回全国少年少女空手道選手権大会 小学3年女子組手 第3位 指導者
バドミントン 競技	串間 美保	赤江中学校外部コーチ	アジアジュニア U17&U15 選手権 2017 ダブルス 第3位 指導者
バスケット ボール競技	黒田 健	一般社団法人宮崎県 バスケットボール協会	第4回3x3U18日本選手権 準優勝 指導者

奨励賞 (団体)

競技名	団体名及び選手 ○は学年	大会名【主催団体名】	大会期日	成績
体操競技	<小林市立小林中学校> ③吉ノ菌悠李 ③山下 大輔 ③東 碧威 ③永原 伊織 ②下村 悠晟 ①有馬 優斗 ①熊迫 洋人	第41回九州中学校新体操大会男子団体 【九州中学校体育連盟】	H29.8.7 ~8	優勝
バレー ボール 競技	<串間市立串間中学校> ③中島 左京 ③濱田 大地 ③山下 隼佑 ③中島 右京 ③山崎 雄斗 ③野崎練太郎 ③瀬尾 拓夢 ②野田 剛佑 ①折田 峻丞 ①清水 創太 ①結城蓮乃介 ①川口 凌太	第50回九州中学校バレーボール競技大会 男子【九州中学校体育連盟】	H29.8.5 ~7	優勝

軟式野球 競技	<三股町立三股中学校> ③佐澤 深志 ③三渡 裕真 ③高尾 颯悟 ③海野 皓大 ③橋口 堯矢 ③瀧山 裕貴 ③川野賢太郎 ③堀内 俊希 ③馬庭 大器 ③江尻 晃規 ③種子田颯哉 ③政野 流星 ③黒坂 涼馬 ③金丸 峰大 ②上石 綺羅 ②藤野 佑青 ②二見 優希 ②山城 一翔	第 42 回九州中学校 軟式野球競技大会 【九州中学校体育連盟】	H29.8.4 ～ 6	優勝
サッカー 競技	<日章学園中学校> ③山田 隆博 ③甲斐 太陽 ③岩倉 廉夢 ③的場 大翔 ③川越 央翔 ③鈴木 天己 ③橋倉 竜哉 ③山口 奏夢 ③小野 大斗 ③日吉 悠真 ②木脇 蓮苑 ③徳重 来輝 ②葭岡 遥来 ②橋 天飛磨 ②馬籠 康星 ②前田 星七 ①日高 隆樹 ②藤本 優希	第 48 回九州中学校 サッカー競技大会 【九州中学校体育連盟】	H29.8.7 ～ 9	優勝
ソフト ボール 競技	<門川町立門川中学校> ③黒木 勝明 ③黒木 海人 ②尾形 大和 ②濱田 由都 ②新田 武留 ②松山 大地 ②米良 聖斗 ②安田 風星 ①小林 蒼大 ①小林 旺雅 ①田端 唯人 ①金丸 壱成 ①児玉 昊	第 29 回九州中学校 ソフトボール競技大会 【九州中学校体育連盟】	H29.8.4 ～ 6	優勝

奨励賞 (個人)

競技名	氏名	所属	学年	大会名	期日	成績
陸上競技	山村 息吹	宮崎市立大塚中学校	2年	第39回九州中学校陸上競技大会 低学年男子 100m ハードル 13秒03 【九州中学体育連盟】	H29.8.7	優勝
	岩永 俊介	宮崎大学教育学部 附属中学校	3年	第39回九州中学校陸上競技大会 共通男子 400m 50秒08 【九州中学体育連盟】	H29.8.7	優勝
体操競技	野元 亮	宮崎市立憶北小学校	6年	第32回九州小学生体操大会 男子種目別選手権 あん馬 【九州体操協会】	H29.8.12 ～13	優勝
テニス 競技	坂本 陽菜	宮崎日本大学 高等学校	2年	第38回全日本ジュニア選抜室内選手権大会 九州地域予選 女子シングルス 【九州テニス協会】	H29.10.29	優勝
水泳競技	矢野 鉄平	宮崎市立憶中学校	3年	第45回九州中学校水泳競技大会 男子 100m 自由形 54秒11 【九州中学校体育連盟】	H29.8.4 ～6	優勝
				第45回九州中学校水泳競技大会 男子 200m 自由形 1分56秒70 【九州中学校体育連盟】	H29.8.4 ～6	優勝
柔道競技	白石 雪乃	宮崎日本大学中学校	2年	第28回九州中学校柔道競技大会 女子 40kg級 【九州中学校体育連盟】	H29.8.4 ～6	優勝
空手道 競技	南 仁	串間市立福島小学校	1年	第4回全九州少年少女空手道選手権大会 小学1年男子組手 【全日本空手道連盟】	H29.6.18 ～19	優勝
	小松 香里奈	宮崎市立江南小学校	1年	第4回全九州少年少女空手道選手権大会 小学1年女子組手 【全日本空手道連盟】	H29.6.18 ～19	優勝
	黒木 美衣奈	串間市立有明小学校	3年	第4回全九州少年少女空手道選手権大会 小学3年女子組手 【全日本空手道連盟】	H29.6.18 ～19	優勝
	長友 麻耶	西都市立妻南小学校	6年	第4回全九州少年少女空手道選手権大会 小学6年女子組手 【全日本空手道連盟】	H29.6.18 ～19	優勝
	瀬戸口 文音	宮崎第一高等学校	3年	第43回全九州空手道選手権大会 少年女子組手個人戦 【全日本空手道連盟】	H29.7.15 ～16	優勝
ソフト テニス 競技	川崎 康平	宮崎市立 宮崎西小学校	5年	第22回九州小学生ソフトテニス選手権大会 ダブルス 【九州ソフトテニス連盟】	H29.12.17	優勝
	大山 瑠偉	都城市立 菓子野小学校	5年	第22回九州小学生ソフトテニス選手権大会 ダブルス 【九州ソフトテニス連盟】	H29.12.17	優勝
サーフィン 競技	増田来希	宮崎県立 富島高等学校	1年	宮崎市長杯アマチュアオープン サーフィン大会 キッズボーイズクラス 【一般財団法人日本サーフィン連盟】	H29.9.18	優勝
	加藤 里奈	クラーク記念国際 高等学校	2年	宮崎市長杯アマチュアオープン サーフィン大会 ウィメンクラス 【一般財団法人日本サーフィン連盟】	H29.9.18	優勝

バドミントン 競技	原口 樹璃	宮崎市立潮見小学校	5年	第34回全九州小学生バドミントン選手権大会兼第26回全国小学生バドミントン選手権大会九州ブロック予選5年生以下 女子シングルス【九州バドミントン連盟】	H29.10.20 ～ 22	優勝
	境田 絢音	国富町立木脇小学校	5年	第34回全九州小学生バドミントン選手権大会兼第26回全国小学生バドミントン選手権大会九州ブロック予選5年生以下 女子ダブルス【九州バドミントン連盟】	H29.10.20 ～ 22	優勝
	井上 海音	国富町立本庄小学校	5年	第34回全九州小学生バドミントン選手権大会兼第26回全国小学生バドミントン選手権大会九州ブロック予選5年生以下 女子ダブルス【九州バドミントン連盟】	H29.10.20 ～ 22	優勝

奨励賞 (指導者)

競技名	氏名	所属	大会名及び指導者
陸上競技	前園 邦宏	宮崎市立大塚中学校	第39回九州中学校陸上競技大会 低学年男子 100m ハードル 優勝 指導者
	湯前 佳子	宮崎市立大塚中学校 (外部指導者)	第39回九州中学校陸上競技大会 低学年男子 100m ハードル 優勝 指導者
	関本 和浩	宮崎大学教育学部附属中学校 (外部指導者)	第39回九州中学校陸上競技大会 共通男子 400m 優勝 指導者
体操競技	若松 彩加	小林市立小林中学校	第41回九州中学校新体操大会 男子団体 優勝 指導者
	中野 雄貴	小林市立小林中学校 (外部コーチ)	第41回九州中学校新体操大会 男子団体 優勝 指導者
	河野 智子	宮崎ジムナスティッククラブ	第32回九州小学生体操大会 男子種目別選手権 あん馬 優勝 指導者
テニス競技	小林 真吾	シーガイアテニスアカデミー	第38回全日本ジュニア選抜室内選手権大会九州地域 予選 女子シングルス 優勝 指導者
水泳競技	野崎 明恵	宮崎市立檉中学校	第45回九州中学校水泳競技大会 男子 100m 自由形 優勝 指導者 男子 200m 自由形 優勝 指導者
	松本 晃	西日本スイミングクラブ祇園	第45回九州中学校水泳競技大会 男子 100m 自由形 優勝 指導者 男子 200m 自由形 優勝 指導者
柔道競技	三澤 寿栄	宮崎日本大学中学校	第28回九州中学校柔道競技大会 女子 40kg級 優勝 指導者
バレーボール 競技	串間由香里	串間市立串間中学校	第50回九州中学校バレーボール競技大会 男子 優勝 指導者
軟式野球競技	松下 幸政	三股町立三股中学校	第42回九州中学校軟式野球競技大会 優勝 指導者
	時任 弘美	三股町立三股中学校	第43回九州中学校軟式野球競技大会 優勝 指導者
サッカー競技	花房 亮太	日章学園中学校	第48回九州中学校サッカー競技大会 優勝 指導者
	福島 将太	日章学園中学校	第49回九州中学校サッカー競技大会 優勝 指導者
ソフトボール 競技	芳野 弘樹	門川町立門川中学校	第29回九州中学校ソフトボール競技大会 優勝 指導者
	久米村大介	門川町立門川中学校	第30回九州中学校ソフトボール競技大会 優勝 指導者

空手道競技	図師 幸一	宮崎第一高等学校	第 43 回全九州空手道選手権大会 少年女子組手個人戦 優勝 指導者
	平田 慎也	緑勝会	第 4 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 1 年男子組手 優勝 指導者
			第 4 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 3 年女子組手 優勝 指導者
	渡邊 誠一	夢道場	第 4 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 1 年女子組手 優勝 指導者
	橋口登志郎	南空会	第 4 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 6 年女子組手 優勝 指導者
ソフトテニス 競技	川崎かおり	清武ジュニア ソフトテニスクラブ	第 22 回九州小学生ソフトテニス選手権大会 ダブルス 優勝 指導者
	鮫島 福弘	スターキッズ	第 22 回九州小学生ソフトテニス選手権大会 ダブルス 優勝 指導者
バドミントン 競技	関谷 誠	しおみキャッツ	第 34 回全九州小学生バドミントン選手権大会兼 第 26 回全国小学生バドミントン選手権大会 九州ブロック予選 5 年生以下 女子シングルス 優勝 指導者
	樋口 百年	国富スマッシュ	第 34 回全九州小学生バドミントン選手権大会兼 第 26 回全国小学生バドミントン選手権大会 九州ブロック予選 5 年生以下 女子ダブルス 優勝 指導者

第72回国民体育大会 「愛顔つなぐえひめ国体」解団式

宮崎県選手団とその関係者が集い、「愛顔つなぐえひめ国体」の解団式が行われました。

また、解団式に合わせて、今回の国民体育大会で活躍した選手・指導者の表彰も行われました。



解団式及び表彰式に出席した選手団

第3回選手強化対策会議

平成29年11月22日、KIRISHIMA ツブキ武道館において、第3回選手強化対策会議が開催されました。

会議では、中馬光久競技力向上対策委員長、古木克浩スポーツ振興課課長のあいさつの後、佐多裕之総監督（県体育協会専務理事）の大会総括、帖佐悦男スポーツ医・科学委員会委員長のドーピング関連の説明、大会の成果や課題について担当者からデータ等が示されるとともに、関係競技団体と協議を行いました。

また、大会派遣コーチの報告会では、開催県や先進県の強化策、施設整備の状況等について報告が行われました。



佐多総監督の大会総括



帖佐Dr.の説明(ドーピング関連)



派遣コーチの報告 (左：當瀬コーチ 右：吉園コーチ)



中馬競技力向上対策委員長のあいさつ



競技団体代表者からの報告

平成29年度「国民体育大会九州ブロック大会」及び「愛顔つなぐえひめ国体」写真パネル展示

1 趣旨

本県スポーツ競技力向上支援事業の一環として国民体育大会出場選手の競技写真を公共の場に展示することで、国体PRを行い、県民にも幅広い層へ、国体への理解と関心を深めてもらい、県全体の活性化及び県民の活力を促す。

2 期日及び展示会場

- (1) 平成 29 年 12 月 11 日 (月) ~ 18 日 (月) KIRISHIMA ツワブキ宮崎県武道館
- (2) 平成 30 年 1 月 15 日 (月) ~ 22 日 (月) 宮崎駅 中央スペース
- (3) 平成 30 年 2 月 5 日 (月) ~ 13 日 (火) 宮交シティ 東口エントランス

3 展示の様子



【宮崎駅】



【KIRISHIMA ツワブキ武道館】



【宮交シティ】

国民体育大会冬季大会報告

国民体育大会第37回九州ブロック大会 アイスホッケー競技会

- 期日/平成29年12月2日(土)～12月3日(日)
- 会場/福岡県 福岡県立総合プールスケートリンク

■ 成年男子 1回戦

宮崎県3 $\begin{pmatrix} 2-1 \\ 0-1 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ 4長崎県



※宮崎県は代表権獲得ならず

第73回国民体育大会冬季大会 スケート競技会

- 期日/平成30年1月31日(水)～2月1日(木)
- 会場/山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

[ショートトラック 1000m 予選 1組]

区分	氏名	所属	タイム	順位	備考
成年男子	馬原 大地	宮崎太陽銀行	1分43秒735	4位	予選敗退

[ショートトラック 500m 予選 2組]

区分	氏名	所属	タイム	順位	備考
成年男子	馬原 大地	宮崎太陽銀行	50秒066	4位	予選敗退



第73回国民体育大会冬季大会 スキー競技会

- 期日/平成30年2月25日(日)～2月28日(水)
- 会場/新潟県妙高市 赤倉観光リゾートスキー場

■ ジャイアントスラローム

区分	氏名	所属	タイム	順位	備考
成年男子 A	百瀬 淋光	宮崎大学	1分16秒41	91位	
成年男子 A	坂井 優光	宮崎大学	1分16秒51	92位	
成年男子 A	藤本 航太	千葉大学	1分19秒05	96位	※ふるさと選手
成年男子 B	田口 浩徳	旭化成株式会社	1分22秒65	78位	
成年男子 C	井上 功	オートバックス小林店	1分14秒70	96位	
成年男子 C	浦尻 雅彦	有限会社別府金物店	1分28秒65	119位	
成年男子 C	内倉 浩二	宮崎県スキー連盟	1分43秒05	122位	
成年女子 A	久保崎鈴菜	AJS 株式会社	1分32秒64	81位	
少年男子	横川 晟吾	県立五ヶ瀬中等教育学校	1分00秒54	154位	
少年男子	真鍋 青空	県立高千穂高等学校	1分02秒90	155位	
少年男子	秋月誠士郎	県立五ヶ瀬中等教育学校	1分12秒53	156位	
少年男子	杉田 溪翔	県立五ヶ瀬中等教育学校			DNF
少年男子	富田悠太郎	県立五ヶ瀬中等教育学校			DNF
少年女子	大澤 遥	県立宮崎大宮高等学校	1分24秒71	100位	
少年女子	内村 祐子	都城工業高等専門学校	1分28秒37	109位	
少年女子	内倉多恵子	県立五ヶ瀬中等教育学校	1分37秒73	116位	
少年女子	村中 愛美	県立五ヶ瀬中等教育学校	1分54秒13	117位	



● 冬季大会男女総合成績(天皇杯得点)

参加点/総合30点(スケート10点 アイスホッケー10点 スキー10点) 競技得点/総合0点

宮崎から世界へ挑戦! 宮崎ワールドアスリート 発掘・育成プロジェクト

**プログラム充実！着実に成長！
98名の金の卵たちが夢に向かって頑張っています！**

● 2期生 48名が始動

平成29年4月16日(日)、KIRISHIMA ツワブキ武道館において宮崎ワールドアスリート2期生の認定式が行われました。2期生として県内の中学1年生24名、小学5年生24名、計48名に認定証が授与されました。式では、鈴木理允さん(大宮中1年)と米田崇真さん(門川小5年)が2期生を代表して、世界に羽ばたくトップアスリートをめざして、力強く誓いの言葉を述べました。

認定式のあとに、1期生50名とともに今年度の育成プログラムがスタートし、さっそく2008年北京オリンピック400mリレー銅メダリスト、塚原直貴氏による「オリンピック教育～オリンピック講話」を受講しました。



認定式



オリンピック講話

● 3期生オーディション

平成29年10月14日(土)・10月15日(日)、県体育館において、3期生の2次オーディションを実施しました。申込者数284名のうち、1次オーディションの書類審査を通過した127名がセンシング、スラローム走、椅子番号走など7種目の測定種目に挑戦しました。

12月16日(土)・17日(日)には同じく県体育館において、2次オーディション通過者29名が3次オーディションを受検しました。検査項目として、作文、メディカルチェック、ヒアリングを実施しました。



2次オーディション



2次オーディション



3次オーディション

●能力開発プログラム

身体的能力開発プログラムでは、コーディネーショントレーニング・SAQトレーニングを実施しました。国内トップコーチの指導の下、身体と頭脳を駆使したトレーニングを通してコーディネーション能力向上を目指しました。

知的能力開発プログラムではオープンマインド・コミュニケーション・メンタルトレーニング・目標設定・語学講座・ロジカルシンキング・企業人講話などを実施しました。プログラムを通してトップアスリートとして必要な資質や能力を習得することができました。



コーディネーショントレーニング



コーディネーショントレーニング

SAQトレーニング



オープンマインド

コミュニケーション

ビジョントレーニング



メンタルトレーニング

目標設定

語学講座



ロジカルシンキング

企業人講話

女性アスリート

●競技種目体験プログラム

県内の競技団体等と連携を図りながら、1期生は11競技（陸上競技、水球、バレーボール、体操、自転車、レスリング、ライフル射撃、セーリング、ホッケー、なぎなた、ボウリング）、2期生は10競技（スポーツクライミング、ウエイトリフティング、フェンシング、ボクシング、ボート、カヌー、ハンドボール、サッカー、ラグビー、ソフトボール）を実施しました。日頃のスポーツ活動では体験できない様々な競技を体験することができ、自分の可能性を拡げることができました。



ライフル射撃



ボウリング



ホッケー



なぎなた



水球



セーリング



陸上競技



バレーボール



自転車競技



レスリング



体操・トランポリン



スポーツクライミング



サッカー



カヌー



ハンドボール



ソフトボール



ラグビー



フェンシング



ボクシング



ウエイトリフティング



ボート

●ファミリープログラム

子どもたちの能力を効果的に高めるためには、日常的な指導の充実が重要であることから、子どもたちをサポートする保護者に対して、今年度は食事調査や食事・栄養指導、アスリート食をテーマにした調理実習、パスウェイプログラムに向けての講話などを実施することができました。



食事調査



調理実習



ファミリー講話

●サマーキャンプ

8月9日～11日の2泊3日で合宿を実施し、学年の枠を超えた集団生活を通じてアスリートとしての必要な資質を身につけることができました。



●自宅課題カリキュラム

県内の理学療法士の方々の協力を得て、自宅でもできるトレーニングの提供をしていただき、日常の体づくりに活用することができました。また、メディカルチェックでは、けが等の早期発見ができ、早期治療につなげることができました。



●特別プログラム

小学5、6年生がラグビーの練習や大会出場を通して、課題となっているコミュニケーションスキルの向上などを図ることができました。



●記録測定

九州コンソーシアムで指定された測定や本県独自で行っているコーディネーション能力の測定を実施し、成長や伸びを確認しました。また、測定結果をもとにこれまでの活動のフィードバックや新たな目標の設定を行いました。



30m 走



椅子番号走



全身反応

スポーツ少年団便り

ミヤザキ・スポーツリーダーズ・セミナー2017

平成29年11月26日(日)宮崎県立美術館アートホールにて、青少年スポーツ活動の活性化について協議するとともに、指導者相互の連携と資質向上を図ることを目的としてUMKテレビ宮崎のご協力のもと、今回で22回目の開催となりました。また、今回は九州ブロックスポーツ少年団指導者協議会の一部としても実施したため、九州各県の関係者にとっても有意義なセミナーとなりました。

今回は、桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科准教授、一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表の渋谷崇行様を講師に迎え、「これからの時代に求められるコーチング」を演題に専門的知識についても身近な事例を交えながら、分かりやすく興味を引く話題で講演をしていただきました。

参加された指導者の方々からは「スライドとは別に具体例の話があり、大変分かりやすかった。」「言葉の選択も適切で非常に分かりやすかった。」「今後の指導に活かせる内容だった。」「これまでの自分の指導方法を振り返るよい機会となった。」など多くの感想をいただきました。



(1) 総参加者数 93名

【指導者 63名 保護者 27名 その他 3名 (行政・一般等)】

(2) アンケート結果 (回答数 76)

【非常に良かった 39 良かった 36 普通 1 良くなかった 0】

(3) 参加者からの感想



指導者

- 動機付けについて漠然としたイメージだったものが整理できた。
- 自分が指導される側に立って考えさせられるセミナーだった。もっと深く聞きたいと思った。
- 「アスリートファースト・ウィニングセカンド」の考えが共感できた。
- 選手とのコミュニケーションのあり方について大変勉強になった。
- 自分の会社でも伝達していきたい内容であった。
- 「指導者は学ぶことをやめてはいけない」という言葉が印象的だった。
- つい結果を求めてしまう中、「人間形成」というとらえ方によって本来の目的が再確認できた。また新たな気持ちで練習指導・学校生活に取り組むことができそうです。

保護者

- スポーツだけでなく子育てへの勉強にもなりました。
- 自分自身、襟を正さなければといくつも思わせていただけた。
- 日頃から気をつけて子どもに接しているが「間違っていない、これでいい」という確信がもてた。
- 指導上参考になる点、反省すべき点が多々あった。しかし、コーチ(保護者)はどうしても勝利を目指さざるを得ない面があり、多少のジレンマを感じる面もある。
- 次回も渋谷先生から「指導者・保護者の負担感」をテーマに講義してほしい。

スポーツ少年団便り

第44回 日独スポーツ少年団 同時交流事業について

1. 目的

本交流は、日独両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とする。

2. 本県の取組

(1) 派遣

● 指導者 山本 康二 氏(延岡市) ● 団員 石川 佳奈芽 さん(宮崎市)

事前研修会 日時：平成 29 年 6 月 24 日(土)・25 日(日) 会場：佐土原交流プラザ

日本団結団式 日時：平成 29 年 7 月 30 日(日)

派 遣 日時：平成 29 年 7 月 31 日(月)～8 月 17 日(木) 16 泊 18 日

(2) 受入

地方プログラム 日時：平成 29 年 7 月 22 日(土)～8 月 7 日(月)16 泊 17 日

受 入 市 (鹿児島県出水市)7月24日(月)～7月28日(金)

(宮崎県延岡市) 7月28日(金)～8月 1日(火)

(大分県大分市) 8月 1日(火)～8月 5日(土)

3. 所感

延岡市スポーツ少年団をはじめ、市体育協会、市教育委員会保健体育課の多大な協力を得て日本・宮崎を十分に堪能できるプログラムが構成され、実施された。来日したドイツ団もホストファミリー9世帯からも大変すばらしい経験ができたとの充実した感想を多数聞くことができた。



指導者協議会便り

平成29年度
宮崎県スポーツ指導者研修会

平成30年2月10日(土)にKIRISHIMA ツワブキ武道館で宮崎県スポーツ指導者研修会が開催されました。この研修会は、日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新義務研修にも位置づけられており、当日は一般の参加の指導者を含め約220名の参加がありました。

特別講演
演題

「トップアスリートから学ぶモチベーションアップ法・
あなた達にとっての東京オリンピック」

講師 金 哲彦氏
プロ・ランニングコーチ

講義
演題

「女性アスリートが抱える女性特有の問題点について」

講師 明野 慶子氏
宮崎市郡医師会病院 周産期センター

情報提供

演題 「スポーツと水分補給について」

講師 木村 勇人氏 大塚製薬株式会社熊本支店 宮崎出張所

特別講演では、金哲彦氏のこれまでの選手や指導者としての経験から、モチベーションを維持するための具体的な事例をもとに話をさせていただきました。

講義では、明野慶子氏から、月経が及ぼすパフォーマンスの影響について、月経に対する理解を深めることが大切であることについて話をさせていただきました。

参加者の皆様は講師の方々のお話に熱心に耳を傾けていました。以下は参加者の感想の一部です。

特別講演：金哲彦氏への感想

- 現場中心の内容で大変参考になった。理論を踏まえつつ応用されている指導者の話は楽しいしモチベーションが高まった。
- 目標、やるべきこと、順序、イメージ、不安要素の排除、モチベーション等、選手それぞれをよりよく見て、それぞれを知り、理解しながらたどり着くべきところに指導者はともに歩んでいなくてはならないと実感した。
- 技術指導はもちろんですが、指導者の役割について改めて理解した。

講義：明野慶子氏への感想

- 女性選手を理解し指導していこうと思う。
- 具体的数字でわかりやすかった。
- 女性アスリートの体の仕組みについて勉強することもなかったので良かった。
- 18歳以上で骨量を増やせない。振り返ってもそこを重視していたか不安になった。男性の指導者を知ってもらった良かったと思う。
- 食事の重要性について改めて感じた。

スポーツ医・科学委員会便り

国民体育大会宮崎県選手団の ドーピング・コントロールに対する意識

宮崎大学医学部整形外科
宮崎県体育協会スポーツ医科学委員会委員
田島 卓也

- 宮崎県の実態 -

近年、スポーツ選手に対するドーピング・コントロールに対する啓発が盛んに実施されているが、残念なことにドーピング・コントロール違反の事例は未だに多く残っている。ドーピング・コントロール違反には「意図して摂取したもの」と「知らずに摂取してしまったもの」があるが、双方とも同じ「ドーピング・コントロール違反」となってしまう罰則や制裁措置が発動する。

ドーピング・コントロールを統括する世界アンチ・ドーピング機構（WADA）は1999年に発足し、2001年に日本国内で日本アンチ・ドーピング機構（JADA）も設立された。平成15年（2003年）の国民体育大会より国体出場選手に対するドーピング・コントロール検査が開始されている。なお、2007年にユネスコが「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」を発効している。

このことによって各競技団体が遵守しなければならない国際規約になり、プロ・アマ問わず「知らなかった」では済まされない状況になっている。「うっかりドーピング」を防ぐべく、体育協会や各競技団体が「啓発活動・教育活動」を実施しているが、選手個人に十分に伝わり、理解および実施できているのかは疑問が残る。

宮崎県体育協会スポーツ医・科学委員会では九州ブロック予選を勝ち抜き国民体育大会（本国体）に出場する全選手に対し、事前に摂取している薬剤・サプリメント・健康食品・栄養ドリンクも含めアンケート調査を継続しておこなっている。

今回は平成27-29年度夏季国民体育大会に出場した選手が摂取している物品の中に「禁止物質・疑義物質」があるかどうかを調査したので宮崎県の実態を報告する。

（なお、疑わしい物質を含有しているものを疑義物質として集計した）

【平成27年度：和歌山国体】

〈アンケート回収〉

29競技、256名

〈ドーピング禁止物質・疑義物質摂取〉
3名(1.2%)

【平成28年度：岩手国体】

〈アンケート回収〉

31競技、334名

〈ドーピング禁止物質・疑義物質摂取〉
4名(1.2%)

【平成29年度：愛媛国体】

〈アンケート回収〉

31競技、313名

〈ドーピング禁止物質・疑義物質摂取〉
10名(3.2%)

【全17例の内訳】

ドーピング・コントロール禁止物質・疑義物質摂取17例の詳細を図に記す（図.1 および2）。少年男子：9名、少年女子：2名、成年男子：2名、成年女子：4名であり各カテゴリーで発生している。市販の感冒薬、漢方・生薬・ハーブ含有の製品のほかに病院で疾患に対して処方されている薬剤なども含まれていた。病院処方薬の中にはあらかじめ「治療目的使用に係る除外措置：Therapeutic Use Exemptions (TUE)」を提出し承認されることで使用可能なこともあるが、本県の事例においてはTUEは提出されていなかった。

生薬・漢方・ハーブの中には禁止物質を含有しているものが多い。また、収穫時期・産地および会社によっても同じ名前の製品でも含有量などが様々であるため、スポーツ選手には推奨しないことが多い。アンケートで禁止物質・疑義物質の摂取が判明した選手には早急に摂取を中止するように勧告している。

なお、表および上記にはカウントされていないが平成27年度冬季国体の宮崎県選手団の中で「男性ホルモン剤含有の育毛剤」を使用しているケースもあった（陽性になる可能性が極めて高い）。

毎年結団式の際にドーピング・コントロールについての啓発講義を実施しているにも関わらず、また有名選手や五輪出場選手のドーピング・コントロール違反などが盛んに報道されているにも関わらず、残念なことに過去3年間では国民体育大会宮崎県選手団における「禁止物質・疑義物質摂取率」は年を追うごとに増加してきている。このままでは宮崎県選手団から「ドーピング・コントロール違反選手」が出てしまうことも懸念される。前述の通りに2003年より国民体育大会においてドーピング・コントロール検査が実施されているが、2016年に初めて他県ではあるが自転車競技の成年男子（全国大会で優勝歴あり）で「ドーピング・コントロール違反陽性」が出ている。男性ホルモンを含有した海外製のサプリメントを摂取して陽性になった事例である。

平成27年度 (和歌山国体)	競技	禁止物質・疑義物質	特記事項・摂取目的など
少年男子	剣道	メチルエフェドリン	市販感胃薬
少年女子	ボート	生薬・漢方	滋養強壮 皮膚疾患
成年男子	クレール射撃	ピソプロロールフマル酸 (β遮断薬)	高血圧治療薬
平成28年度 (岩手国体)	競技	禁止物質・疑義物質	特記事項・摂取目的など
少年男子	水球	胎盤エキス	滋養強壮
少年女子	カヌースプリント	メチルエフェドリン	市販感胃薬
成年女子	トライアスロン	ハーブエキス	抗酸化作用 アンチエイジング
成年女子	競泳	漢方	滋養強壮

平成29年度 (愛媛国体)	競技	禁止物質・疑義物質	特記事項・摂取目的など
少年男子	ボクシング	ハーブエキス	鉄サプリ
少年男子	カヌースプリント	メチルエフェドリン 副腎皮質ステロイド	市販感胃薬 (禁止物質を2剤)
少年男子	ソフトテニス	ハーブエキス	滋養強壮
少年男子	ソフトボール	ブソイドエフェドリン	アレルギー治療薬
少年男子	ソフトボール	漢方(麻黄)	市販感胃薬
少年男子	競泳	副腎皮質ステロイド	蕁麻疹
少年男子	競泳	生薬・漢方	滋養強壮 皮膚疾患
成年女子	ライフル	生薬・漢方	月経痛
成年女子	自転車	副腎皮質ステロイド	蕁麻疹
成年男子	空手道	漢方(麻黄)	市販感胃薬

スポーツ選手、とくに全国大会を目指す選手はスポーツパフォーマンスの向上のみならず、摂取する薬剤・サプリメント・健康食品・栄養ドリンクの含有物質にも十分に留意しなければならない。

「禁止物質」は毎年1月1日にWADAより公表・更新されている（JADAのHPでも日本語で掲載されています）。1年前までは大丈夫だったものが、翌年に「禁止物質リスト」に入ることもある。最新の情報収集に努め自分自身を守ることが重要である。

もし何らかの薬剤・サプリメント・健康食品・栄養ドリンクを摂取する場合には「摂取する前」に「禁止物質リスト」を確認すること、Global DRO JAPANを利用すること、JADA認定商品かどうかを確認すること、わからない場合にはスポーツドクター、スポーツファーマシストに相談することが推奨される。



加盟団体便り(1)

宮崎県弓道連盟の現状と今後について

宮崎県弓道連盟

1. あゆみ

弓矢のルーツを探ると石器時代にまで遡ることになり、鳥や獣を捕獲するための道具であったものが、時代の変遷とともに戦うための武器となり、その後、心や体を鍛える武道としての弓道に発展してきました。

明治時代に弓術としての愛好者が増え大日本武徳会という組織が結成され、全国各地で腕自慢の大会等が開催されておりました。現在でもその時代の豪傑ぶりが言い伝えられております。宮崎県内にも偉大な先輩方がおられたと聞いております。

その後、昭和 24 年に現在の公益財団法人全日本弓道連盟の前身である全日本弓道連盟が結成され、翌年の昭和 25 年に宮崎県弓道連盟も発足し現在に至っております。

2. 現状及び活動状況

発足後約 70 年を迎えようとしている弓道連盟の平成 29 年度の登録会員数は中学生約 780 名、高校生約 950 名、大学生約 140 名、一般会員約 560 名の計約 2,430 名になります。会員数は平成 19 年頃をピークに徐々に減少傾向にあり、特に一般会員の減少が大きいです。しかし、中学生・高校生は全体の生徒数が減少してきている中でありながら、弓道部に入部する生徒は横這いかやや増加の傾向にあり、中学校で約 40 校、高校で約 43 校の学校で弓道部としての活動を行っております。

県弓道連盟では、技術力や競技力向上のために、毎年、中・高校生を対象とした講習会や一般会員を対象とした研修会・講習会を開催しております。なお、練習の目標設定や練習の結果を確認できる機会として、春と秋に県内 7ヶ所 で年 2 回四段以下の昇段審査を実施しております。

また、県内には地域ごとに 19 の支部組織があり、各支部で初心者を対象とした弓道教室を開催し底辺拡大に努め、独自に講習会や大会等を開催し親睦を深めるとともに技術力や競技力の向上に努めております。

過去、中学生、高校生の部や一般の部で全国大会での優勝や上位入賞の実績が多数ありますが、特に国体の成年の部については、これまでの強化が実を結び入賞が続いております。

さらに、数年前から都城市の民間企業が弓道経験者を採用し、弓道部として活動を続け 2 年連続で全国大会優勝するなど企業の弓道に対する理解も深まってきており大変喜ばしく、感謝すべきことであり敬意を表します。



3. 今後の取り組み

今後も少子化が進むと思われる中、底辺の拡大が重要課題だと思えます。競技人口が減少すると競争意識が衰退することに伴い競技力も低下し、期待する良好な結果は生まれません。

初心者対象の弓道教室を通じて、弓道を体験していただき「弓道」の良さを広く県民の皆さんに知ってもらい、親しんでもらうためにも今後も引き続き各支部による弓道教室を開催し底辺の拡大に努め、同時に経験者の発掘にも努めなければならないと思えます。

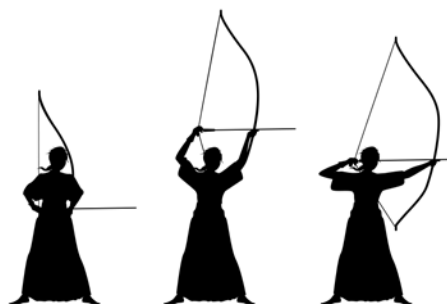
次に、会員の技術力・競技力をステップアップさせるために、県連主催の講習会の更なる充実、外部から指導者を招いての質の高い講習会の実施、次世代を担う指導者の育成にも力を注がなければなりません。

2巡目国体に向けて、選手が安心して練習に取り組める環境を関係機関と共に整える必要性、特に、宮崎県には正式な遠的弓道場が2ヶ所しかなく、国体でも近的競技に比して遠的競技の成績が思わしくありません。常時、遠的の練習が出来るように遠的弓道場の整備が急務であると思えます。

国体成年の部は、現在でも年間を通じて強化を継続的に実施していますが、将来を見据えた候補選手、特に女子選手の発掘、育成が急務となっております。

県の「女性アスリート支援事業」を有効に活用して、女性が集中して競技に臨めるような環境を整備する必要があります。

国体少年の部は近年成績が芳しくない状態が続いていますが、選手の選考方法や強化の方法について関係者と連携をとりながら、選手が最大限実力を発揮できるような体制づくりを進めていきたいと思えます。



加盟団体便り(2) 児湯郡体育協会

スポーツに関する幅広い知識の習得を目指して！ 「スポーツリーダー研修会」

児湯郡体育協会では、毎年さまざまな分野から講師をお呼びして研修会を行っています。

今年は、スポーツジムのトレーナーに講師をお願いして「スポーツ障害予防のストレッチとトレーニング」と題し、実技も取り入れながら研修を行いました。

数十年前は正しいと教えられていたが、現在では適切ではないといわれているストレッチやトレーニング方法など、最新医学に基づいて説明していただきました。

また、毎日の生活・スポーツを行う中で取り入れるとよい、ストレッチとトレーニング方法を分かりやすく講演していただき、大変有意義な研修会となりました。

今後もスポーツに取り組む方々の一助となるような研修会を通じて児湯郡全体のスポーツ振興と連携を深めていきたいと思えます。



総合型地域スポーツクラブ (1)

半九レインボーSC

～ みんなで 楽しもう!! 笑おう♪♪ 汗しよう!! ～

ハンディの有無に関係なく、分け隔てのないバリアフリーな活動をしています。

理事長・クラブマネジャー 澤山 貴義

半九レインボースポーツクラブは、2年間の準備期間を経て、平成22年1月に設立しました。クラブを運営するなかで大事にしているのはハンディの有無に関係なく、みんなで「楽しもう!! 笑おう!! 汗しよう!!」をモットーに日々活動しています。

クラブの会員はいま170名です。また、教室は、一般と子どもを対象にそれぞれ13教室、8教室を開講しています。主な教室としては、サッカー、ラージボール卓球、ホースセラピー（乗馬）、シーカヤック（カヌー）、フライングディスクなどを開設しており会員の皆さんに楽しんでいただいています。活動の特徴は、できるだけ多くのスポーツを実践し楽しみながらも、宮崎の豊かな自然の中で、あらためて自然界の素晴らしさを一人でも多くの方々に知っていただき興味を持ってほしいと願って活動しています。

主な活動場所は、日南市南郷町の栄松ビーチや宮崎市の大淀川、一ッ葉ビーチなどです。

初心者の小学生でも半日で乗れるようになるので毎回実施するたびにリピーターが増えています。種類も多種類あるので体験したい希望があればできるだけそのリクエストにも応えられるようにしたいと思います。

是非、一度、宮崎のこの豊かな自然界を楽しんでください!!



HP http://www.geocities.jp/rainbow_3080/

イベント

サッカーフェスティバル、ミニバレーボール大会、ラージボール卓球大会、カヤック体験会、キャンプ、バーベキュー、木工教室、囲碁教室、ボランティア活動、エコ活動

総合型地域スポーツクラブ

第7回宮崎県 エンジョイスポーツ フェスティバルについて

1. 目的

県民及び県内に創設された総合型地域スポーツクラブと本県スポーツ活動団体等が一堂に集まり、国・県のスポーツ基本計画の理解を深め、本県スポーツ振興についての普及啓発とスポーツ活動関係団体相互の連携協力を図る。

2. 主催

一般社団法人宮崎県教職員互助会 宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
公益財団法人宮崎県体育協会 公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会

3. 期日、会場及び参加人数

平成 29 年 10 月 14 日 (土) 高城運動公園総合体育館、屋内競技場、観音池公園

参加者数

ミニバレー	38 名	卓球	61 名	ミニサッカー	64 名
カヤック	35 名	グラウンドゴルフ	132 名	ウォーキング	5 名
スポーツバイキングのみ	67 名	SC 関係者	82 名		【合計 484 名】

4. 事業の様子



指導の現場から

前号では、県立高千穂高校剣道部監督である野口貴志氏を紹介いたしました。今回は、第90回記念選抜高校野球大会に出場を決めた延岡学園高校野球部監督である三浦正行氏と県立富島高校野球部監督である濱田登氏にお話を伺いました。昨秋の九州大会で準優勝した富島高校は、春夏通して初めて、4強入りした延岡学園高校は、12年ぶり3回目の出場となりました。県勢のダブル出場は宮崎商業高校、高鍋高校の1966年以来52年ぶりの快挙となりました。



延岡学園高校野球部監督
三浦 正行 氏

事務局 先ずは、第90回記念選抜高校野球大会への出場おめでとうございます。延岡学園高校にとりましては12年ぶり3回目の出場になりますが、今回のセンバツ出場を決めた要因は何だとお考えですか。

三浦氏 昨年の8月から指揮を執ることになりましたが、延岡学園高校には能力のあるいい選手がそろっていました。また、私の考えと選手の考えの波長が一致したという幸運もあるかもしれませんが、自分で考え、自分で判断して行動する自主性を重んじ、練習では、個々の選手のいいところをさらに伸ばすような指導を行い、試合では自分たちの力を出し切る、伸び伸びとしたプレーをさせるということが一番に心がけました。

事務局 甲子園出場が決まった後の反響はどうでしたか。

三浦氏 学校、地域を始め多くの方々に喜んでいただきましたね。また、各方面からの取材等が増えてびっくりしているところです。県大会で優勝してから気運が盛り上がっていききました。県内から2校出場、しかも県北から2校が出場するので、県内外を問わず注目を浴びていると思います。

事務局 日頃から指導されている基本的な理念は何ですか。

三浦氏 自主性です。上からの押しつけの指導ではなく、選手の自主性に任せていくことです。これは変えずに続けていきます。夕食後、選手達は自主的に練習もしますし、生活面でも選手の発案で自主的に清掃活動をやっ

ています。また、選手のいいところを伸ばすことを中心に考えています。「9つの悪いところを直すより、1つの良いところを伸ばす」という言葉を胸に指導をしています。

事務局 甲子園で行われる選抜大会での目標は何ですか。

三浦氏 1つ1つ、目の前の試合に集中しますが、「3つ勝つぞ!」と選手にはよく言っています。選手とコミュニケーションをとり、選手が力を出し切れるように専心します。

事務局 最後になりましたが、8年後に2巡目宮崎国体を迎える本県スポーツ界が更なる競技力向上を目指す上で、何か考えがあればお聞かせください。

三浦氏 県高野連の企画で、大学で投・打に関する科学的測定を実施していただいたのは良かったですね。今後はもっと科学的分野との連携を図り、活用していくことも大切だと思います。また、指導においては頭ごなしの指導ではなく、自主性を重視した指導を心がけ、選手が100パーセントの力を出し切るように努力していくことだと考えています。

事務局 では、三浦監督のご健勝と、甲子園での延岡学園高校野球部の活躍を祈ります。本日はありがとうございました。

取材を終えて

延岡学園高校にお邪魔しての取材でした。三浦監督のおっとりした口調には、選手を包み込むような人間的温かさを感じました。監督の広い懐の中で、選手達は思う存分プレーに集中できるのだらうと想像しました。



延岡学園高校野球部



宮崎県立富島高校野球部

宮崎県立富島高校野球部監督
濱田 登 氏

事務局 第90回記念選抜高校野球大会への出場おめでとうございます。富島高校にとっては春夏通して初出場となりますが、今回センバツ出場の要因は何だとお考えですか。

濱田氏 子どもの頑張りだと思います。そして、スタッフ力がチーム力となっていったと思います。常にスタッフ（監督、部長、コーチ）が共通理解し、それぞれの立場で役割を果たしてくれました。県大会から逆転勝ちの試合が多く、それで実力がつき、九州大会での勢いとなり準優勝できました。普段の指導の根幹は、「徹底力」と言い続けています。小さな決まり事、約束事でも最後まで徹底して守り抜くという姿勢です。指導方針や「チームの決め事」は徹底して守る。これがチームに浸透したからだと思います。

事務局 （日向市広報誌「ひゅうが」の表紙に富島高校野球部ナインの喜びの写真が掲載されていましたが）甲子園出場が決まった後の周りの反響はどうでしたか。

濱田氏 大変な反響で、市民の皆さんからたくさん喜んでもらいました。市庁舎や警察署には応援の懸垂幕が下がっています。市の広報誌の表紙を飾ったことから分かるように、市をあげて喜んでもらいました。

事務局 日頃から指導されている基本的な理念は何ですか。

濱田氏 やはり人づくりですね。基本は“心”にあり、その上に技術があると思います。心をつくる指導を徹底しています。清掃をまじめにできない生徒は練習もまじめにできません。

陰ひなたなく生活ができる真面目な生徒にはまだ技術の伸びしろはあると思っています。日頃の生活ぶりを見て、指導し、育てているつもりです。

事務局 甲子園で行われる選抜大会での目標は何ですか。

濱田氏 一戦必勝。いつもと変わりなく、全力（100パーセント）で準備をし、相手の分析をし、目の前の相手を倒すということに尽きます。

事務局 最後になりましたが、8年後に2巡目宮崎国体を迎える本県スポーツ界が更なる競技力向上を目指す上で、何か考えがあればお聞かせください。

濱田氏 子どもの時からの一貫した指導体制が望まれます。また、垣根を越えて小・中・高の指導者が一同に会して研修する機会をつくり、指導力を図る機会があるといいですね。また幼児期の小さい子どもに野球は面白いという機会をつくり、底辺拡大ができると思っています。私自身も人間力を高めるため、著名な方の講演会に参加するとか、いろいろな機会をつくり、研修に努めたいと思います。

事務局 では、濱田監督のご健勝と富島高校野球部の甲子園での活躍を祈ります。本日は、ありがとうございました。

取材を終えて

富島高校の職員室での取材でした。濱田監督の物静かな語り口の中に、強い信念みたいなものを感じました。監督が5年前赴任されたとき、部員が5名でしたが指導方針は変わらず“徹底力”だったそうです。

チーム宮崎ペンリレー

これまでの指導経験を振り返り、
「今思うこと」

平成2年に大学を卒業し、すぐに宮崎第一高校で指導者としてのスタートを切ることができました。6年間務めさせていただいている間、大学を出たばかりの私に、当時の保護者や先生方、たくさんの方々関わってくださり、平成4年に行われた宮崎での地元インターハイに開催地枠で出場することができたり、さらにもう一度インターハイに出場できたり、その他たくさんの経験と勉強をさせていただきました。



平成7年度全国高校総体ハンドボール選手権大会
宮崎第一高校 平成7年度 インターハイ出場 当時

その後教員採用試験受験のため、2年間チームを持たない状況が続きましたが、平成10年度から小林工業高校で、指導者としての道を再スタートさせていただきました。15年間務めさせていただく中で、たくさんのご支援やサポートのお陰で、全国優勝2回、準優勝4回、準決勝進出4回など、それなりの結果を残すことができ、数多くの感動とそれに伴う感謝を味わうことができました。人の力や、その可能性を限りなく信じることの大切さ、信じ合える絆の大切さを体感し、人生において重要な経験をさせていただきました。

その後、都城工業高校に異動してからは、いろんな世代の日本代表のコーチ及びゴールキーパーコーチとして、様々な監督のもとで日本を背負って戦わせていただいています。

大学を出てすぐに監督をさせていただき、何もわからず手探りの中、見よう見まねで取り組んで勉強し、



都城工業高等学校 北林 健治

チャレンジし続けてきましたが、自分自身が見てきたものよりもさらに広い世界があり、様々な考えがあり、もっと深いものがあることに気付かされています。

日本代表コーチとして人に使われる立場として、様々な場面に関わっていく中、代表選手の気持ちを体感することが多くあります。いかにこれまでの自分の指導が、自分本位のものであったか、感覚的なものであったか、反省させられる連続です。



小林工業高校 平成14年度 高知国体 初の全国優勝 当時

当然、これまでの取り組みが活かせる場面も多く、自分を必要としてくださる方々がいて、他県にも数多く講習会に行かせていただいていますし、チームの強化に協力させていただいているのですが、それ以上に、これまでの世界を離れ新たな環境の中で、さらに自分を磨き、広げないといけないと感じさせていただいている事に、感謝の気持ちで一杯になります。

また、このような代表活動をはじめとする様々な活動は、関係諸機関のご理解とご協力がなくてはできないことでもあります。県教育委員会、スポーツ振興課、県体育協会、都城工業高校、県ハンドボール協会などなど、私を支えて下さる方々には感謝ばかりであります。

そして何よりも家族の支えです。年間4ヶ月ほど宮崎を離れる生活を続けていますが、妻は家庭を守り自分の仕事を頑張っていますし、子供達もしっかりと自分のことに、真剣に前向きに頑張ってくれている事が、私の勇気に繋がっています。私にはもったいない妻や子供に恵まれて、本当に感謝しかありません。

「たくさんの皆様、有り難うございます。」

そういった活動の中で、私が現在感じている事をまとめさせていただきました。みなさまにも何かの参考になればと思います。



小林秀峰高校 平成 23 年度 岩手全国総体 2 度目の全国優勝 当時

小林工業・秀峰高校を離れ、都城工業高校・日本代表活動等を通じて今思うこと

人を自主的に積極的にさせるためには、「重要感を持たせ」、考えをしっかりと聞いてあげ、「自分自身の考えで自分自身を動かすことの喜び」を感じさせてあげることである。

信じて人を登用する。「すべきことを明確にさせ、伝え実行させる。」行う時の判断に対しては「その人の判断を信じ、任せる」ことである。

常に「プラス思考」・「プラスの表情」で伝えるべきことを伝えていくことである。

怒鳴ったり、威嚇しても結果には繋がらない。そういう働きかけでの結果は、一時的なものに終わり、必ず行き詰まりに陥る。

それには「我慢が必要」、「明確な投げかけ」を行い、自分自身で考えさせ、「質問を投げかける」ことにより、自分自身で気付かせ、「自分自身の力で前進成長していくように導く」ことが唯一の方法である。そこには指導者の「忍耐強さ」が必ず必要になってくる。

そのためにどのようにアプローチしていくか、「指導の引き出し作り」が指導者の学ぶべきところである。その人の個性を尊重し、「厳しく困難な物事に対して興味を持って楽しく挑んでいく喜び」を、いかに味わわせてあげるかが指導者の醍醐味。

ともかく指導者自身の勉強が何よりも必要。「物事は変化し世の中は変動していく」ことをしっかりと受け止め、「自分自身を変化させ、向上・成長させていくことを惜しまない」事である。お預かりしている方々や、お付き合いいただいている方々、家族のためにも、「日々のひと時ひと時を大切に」過ごすべきである。

「一人一人の人は違うこと」、「日々は刻一刻と流れており変化し続けている」こと、そして「全てのものや人が繋がっている」ことへの理解が重要であり、それに対する「感謝」からが全てのスタートではないかと思う。自分自身もそのような感覚を持って人生を歩んでいきたい。この世に「人間として生まれてきた証」として。

今後もスポーツを通じて、少しでも多くの人に自分の可能性を信じること、人の可能性を信じて繋がることの重要性を伝え、未来の日本を作る人材育成に貢献していきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



2017 年 7 月 日韓定期戦 試合前記念撮影

平成30年公益財団法人宮崎県体育協会 新春関係者の集い

- 1 日時 平成30年1月17日(水) 18:00～
- 2 会場 MRT ミックダイヤモンドホール
- 3 参加者 賛助会員を中心に県教委・県議会・市町村関係・加盟団体等 171名



佐藤勇夫会長挨拶



新見昌安県議会代表祝辞



四本孝県教育長乾杯



十屋幸平日向市長来賓挨拶



本県スポーツ関係者の連携を図るため開催し、今回で3回目となりました。
会場では、それぞれの立場で本県スポーツの振興・充実に向けた熱い議論が交わされました。

「私たちは宮崎のスポーツを応援します」 ≪ご協力ありがとうございます≫

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進に御協力いただいております個人・団体・企業の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、2026年本県開催国民体育大会成功のため、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

※なお、本会は、税制上の「特定公益増進法人」に該当しますので、本会賛助会へ加入いただいた場合、寄付金控除の優遇措置を受けることができます。

(平成29年4月1日から平成30年2月15日現在 50音順 敬称略)

I 法人・企業・団体会員 (159件 364口)

アイワ工業株式会社	旭化成株式会社延岡支社
旭建設株式会社	アリストンホテル宮崎
一般財団法人弘潤会野崎東病院	一般財団法人みやぎん経済研究所
井上酒造株式会社	医療法人慶明会おび中央病院
医療法人慶明会けいめい記念病院	医療法人慶明会富吉共立病院
医療法人慶明会宮崎中央眼科病院	医療法人雅会河野整形外科
雲海酒造株式会社	エースランド株式会社
江坂設備工業株式会社	Mスポーツ整形外科クリニック
大塚製薬株式会社宮崎出張所	大淀開発株式会社
小田油脂工業	学校法人順正学園九州保健福祉大学
学校法人豊栄学園都城東高等学校	学校法人宮崎総合学院
株式会社 AAO	株式会社 AVC 放送開発
株式会社 JTB 九州宮崎支店	株式会社イー・アール・シー高城
株式会社エアラインホテル	株式会社エスアイエス
株式会社岡崎組	株式会社共立電機製作所
株式会社黒木本店	株式会社興電舎
株式会社コム光成	株式会社児湯食鳥
株式会社坂下組	株式会社志多組
株式会社タダスポーツ	株式会社テクノミックス
株式会社テツカ	株式会社テレビ宮崎
株式会社デンサン	株式会社永野
株式会社中山荘	株式会社ニチワ
株式会社ニッショー	株式会社日本旅行宮崎支店
株式会社ニューウェルシティ宮崎	株式会社 HIKARI
株式会社ほっかほっか亭宮崎地区本部	株式会社ホテルマリックス
株式会社南日本ネットワーク	株式会社宮交シティ
株式会社宮崎観光ホテル	株式会社宮崎銀行
株式会社宮崎太陽銀行	株式会社宮崎ツアーサービス
株式会社宮崎日日新聞社	株式会社宮崎放送
株式会社宮崎山形屋	株式会社明光社
株式会社メイトーテック	株式会社夕刊デイリー新聞社
株式会社ヨシダヤ	神崎建設工業株式会社
キューキ工業株式会社	清本鐵工株式会社
協同紙工株式会社	京屋酒造有限会社
霧島酒造株式会社	倉本鐵工株式会社
公益財団法人スポーツ安全協会宮崎県支部	公益財団法人みやぎ観光コンベンション協会
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会	公益社団法人宮崎県柔道整復師会
興相豆腐有限会社	興和商事株式会社
合資会社小川屋	合資会社ルミエール日向
JTB 協定タクシー連盟宮崎会	JTB 協定旅館ホテル連盟宮崎支部
大星電機株式会社	高鍋信用金庫
ちさか小児科	東武トップツアーズ株式会社宮崎支店
野崎漬物株式会社	延岡信用金庫
ビジネスホテル有明	福岡木材有限会社

弁護士法人衛藤法律特許事務所	松田商事株式会社
丸山物産株式会社ホテルスカイタワー	南日本酪農協同株式会社
宮銀カード株式会社	宮銀コンピューターサービス株式会社
宮銀ビジネスサービス株式会社	宮銀ベンチャーキャピタル株式会社
宮銀保証株式会社	宮銀リース株式会社
都城市郡ホテル旅館組合	都城信用金庫
宮崎液化ガス株式会社	宮崎カーフェリー株式会社
宮崎ガス株式会社	みやざき魚菜志ほ
宮崎空港ビル株式会社	宮崎ケーブルテレビ株式会社
宮崎県運動具商組合	宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
宮崎県遊技業協同組合	宮崎交通株式会社(宮交ホールディングス)
宮崎酸素株式会社	宮崎信用金庫
宮崎日産自動車株式会社	宮崎ひむかライオンズクラブ
宮崎ヤクルト販売株式会社	民宿美波
名鉄観光サービス株式会社宮崎支店	米良電機産業株式会社
有限会社青木画材店	有限会社いっせい・お弁当のくうらく亭
有限会社いろは企画	有限会社かわにしスポーツ
有限会社郡山板金工業所	有限会社創和
有限会社ソニア	有限会社タケマサ自動車整備工場
有限会社トレス	有限会社橋本商会
有限会社ホテル金住	有限会社マイルストーン
有限会社宮崎グリーンホテル	有限会社堀之内スポーツ
有限会社山崎自動車	旅情苑やまざと
吉原建設株式会社	
一般財団法人宮崎県水泳連盟	一般財団法人宮崎陸上競技協会
一般社団法人宮崎県サッカー協会	一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
NPO 法人宮崎県サーフィン連盟	宮崎県弓道連盟
宮崎県グラウンドゴルフ協会	宮崎県ゲートボール協会
宮崎県高等学校体育連盟	宮崎県高等学校野球連盟
宮崎県銃剣道連盟	宮崎県柔道連盟
宮崎県スイミング協会	宮崎県スケート協会
宮崎県ソフトボール協会	宮崎県体操協会
宮崎県テニス協会	宮崎県軟式野球連盟
宮崎県バドミントン協会	宮崎県武術太極拳連盟
宮崎県ボウリング連盟	宮崎県ライフル射撃協会
宮崎県ラグビーフットボール協会	宮崎県レスリング協会

II 個人会員 (67件 93口)

相星 正人	秋田 義久	朝比奈紀行	東 行男
東 啓三	新木 るり	安在 康喜	石原 実
井野 浩司	上杉 聡視	植松 義文	内之倉和彦
大西 敏夫	大山 直生	尾崎 太朗	押川 尚生
甲斐 藤昭	鹿島庄一郎	鎌田 伸次	上江田安博
川崎 重雄	川添 健一	河内 徳康	河野 幸榮
河野 順	木宮 浩二	黒川 正信	財津 吉長
斉藤 重保	坂口 和隆	佐多 裕之	塩月 光夫
重信 和行	菅 薫	田代 均	田中 裕久
田村 司	黒葛原朱美	東長 達也	得能 剛
中川 義行	長倉 春義	長友 寧雄	永野 雄造
中村 嫁苗	中村 正親	丹生 進一	萩尾 英司
橋田 和実	原口 宏史	原田 種英	日浦二三男
樋口 保則	日高 巽	日高 和典	廣田 彰
廣田 忠則	古川 康二	前原 央志	三浦 徹也
水迫 勇	薬師 正義	安影 和寿	横山 博
米丸 麻貴生	若林 繁幸	和田 保典	

編集後記

まずは、本年度の公益財団法人宮崎県体育協会における、全ての事業が無事に終了したことを御報告を申し上げますとともに、関係各位の方々からの御支援等に衷心より感謝いたします。

韓国平昌において極寒の中行われた冬季オリンピックでは、日本人選手の素晴らしい活躍と史上最多のメダル獲得に、日本中に元気や感動、そして笑顔をたくさん与えていただきました。まさに2020年東京オリンピックに向け、勢いのあるスポーツの風が吹いているようです。

さて、1月31日から開催された第73回国民体育大会冬季大会「富士の国やまなし国体」でのスケート競技、また、2月25日から開催された「にいがた妙高はね馬国体」のスキー競技におかれましては、本部役員・監督・コーチ・選手団総勢36名が派遣されました。厳しい練習環境の中で、夏場の法華岳での練習や県外遠征など工夫しながら強化を図っていただいた成果を発揮していただいたことに感謝申し上げます。

「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」も2年目を迎えた1期生、今年度認定された2期生を合わせ総勢98名による育成プログラムをスタートさせましたが、競技団体をはじめとする関係機関の多大なる御協力により順調に実施することができました。大きな成果としましては、質の高いプログラムを計画的に受講していることによる資質や能力の向上、また、競技種目体験プログラムなどで多くの競技で適性を見出されているアスリート生が出てきております。今後も息の長い、本県の競技力の基盤となるプロジェクトになることを期待しているところです。

さて、今回もおかげさまで、本誌「宮崎体協215号」を発刊することができました。この発刊に際し、御多忙の中、寄稿・写真提供をしていただいた全ての方々から心より感謝を申し上げます。

最後になりますが、今後も本協会として、宮崎県スポーツの発展のために、誠心誠意、努力してまいりますので、これからも温かい御支援・御鞭撻を心よりお願い申し上げます。編集後記とさせていただきます。



●事務局●

公益財団法人 宮崎県体育協会

〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山 1443-12

KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付・案内所 2F

TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630

E-mail / miyazakiken@japan-sports.or.jp

●発行所●

公益財団法人宮崎県体育協会

編集発行人 佐多 裕之

●表紙写真●

第73回国民体育大会冬季大会、
スポーツ優秀賞・奨励賞

(小・中・高校生)

宮崎ワールドアスリート発掘・

育成プロジェクト

甲子園出場校

Sports for all 推進費付き 自動販売機事業

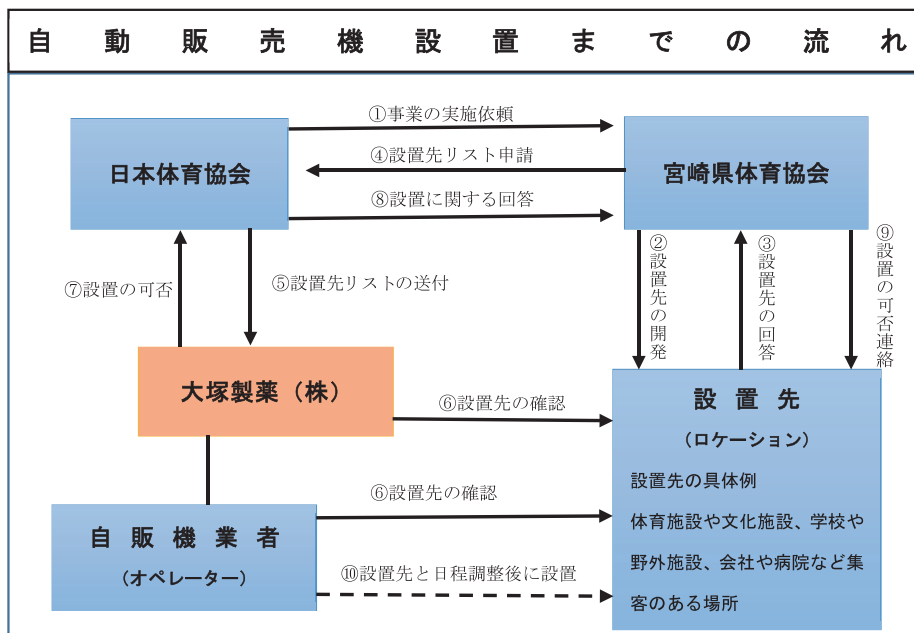


※自動販売機ステッカー

公益財団法人宮崎県体育協会では、本県体育スポーツの普及と振興、競技力向上対策事業の充実を図るため、日本体育協会オフィシャルパートナーである大塚製菓株式会社と協力し、『Sports for all 推進費付き自動販売機設置事業』を実施しています。

この自動販売機を県内に設置することで、売上げの一部が本県のスポーツ振興に役立てられます。是非、本県のスポーツ振興とスポーツ環境の設備のためにご協力を賜りますようお願いいたします。

また推進費付き自動販売機をご利用戴くことでも振興に貢献できます。Sports for all 推進費付き自動販売機ステッカー（※参照）を見かけましたら是非ご利用ください。



※オペレーターからの手数料については、毎月1本あたり10円で振り込まれる。

※販売の明細についても、オペレーターから毎月報告が通知される。

※設置にあたり日体協、大塚製菓、オペレーター、設置先の4者契約を締結する。

Sports for all

推進費付き自動販売機 設置事業

☆自動販売機設置の御協力ありがとうございます☆

「グランデオオシマ I」東入口 1 台
宮崎市東大宮 4 丁目 6-28

平成 26 年度から本会の会議やイベント等、様々な場面で御協力のお願いをさせていただきましたが、これまでに 1 件のマンションオーナー様からのみ設置の御協力を頂きました。

今後、皆様方の御協力によって、多くの競技団体へ支援することができ、本県選手達の活躍に寄与することができると思いますので、本県のスポーツ発展・振興のためにも、御理解・御協力の程よろしくお願い致します。

**新設・増設の御検討、設置スペースの確保及び提供等ございましたら
公益財団法人宮崎県体育協会までご連絡ください。**

(既設の大塚製薬(株)自動販売機でも対象になります。)

※設置先推薦リスト様式

公益財団法人日本体育協会 「Sports for All推進費付き自動販売機設置事業」設置先リスト					
	紹介先施設名(新規・既存)	所在地住所	交渉先		
			担当者名	団体・企業名	住所・TEL
1	(新規・既存)				〒 TEL ()
2	(新規・既存)				〒 TEL ()
3	(新規・既存)				〒 TEL ()
4	(新規・既存)				〒 TEL ()

上記施設を紹介いたしますので、よろしくお願いたします。

送信先 日本体育協会広報キャンペーン課
 FAX: 03-3481-2284

団体名: _____
 事務担当者名: _____
 部署名: _____
 TEL: _____

※本会 HP の「宮崎県体育協会について」・賛助会員募集⇒推進費付き自販機事業の中にリスト様式があります。

**2026年二巡目
宮崎国体を成功させよう！**



**私たちは
宮崎のスポーツを応援します**
賛助会員募集中

公益財団法人宮崎県体育協会では、宮崎のスポーツを応援する「賛助会員」を募集しています。詳しくは、本協会にお問い合わせ下さい。

〒889-2151 宮崎県宮崎市大字熊野字島山1443-12
KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付案内所2F
TEL (0985) 58-5633
FAX (0985) 58-5630
ホームページアドレス : <http://www.miyazakiken-taikyo.jp>
メールアドレス : miyazakiken@japan-sports.or.jp



株式会社 タダスポーツ

宮崎のスポーツシーンを応援します



〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3169-4
TEL 0985-24-2639 FAX 0985-33-9552
Mail: tada-sports@ninus.ocn.ne.jp

弁当はお任せください



地元ならではの材料で
作る美味しい手作り弁
当はいかがでしょうか!
大会前日までにご予約
いただいた方にはさら
にサービスいたします。

手作り弁当
マロ

県総合運動公園前
TEL 0985-58-0785
FAX 0985-58-1252

「夢、感動、 チャレンジ」

名鉄観光はスポーツを
する人をサポートします

名鉄グループの幅広いネットワークで一翼を担います

 名鉄観光

名鉄観光サービス(株)宮崎支店

〒880-0001 宮崎市橋通西2丁目4-20 (アクア宮崎ビル5階)

TEL 0985-26-1414・FAX 0985-20-7355

E-MAIL : miyazaki@mwt.co.jp



東武トップツアーズ

TOBU TOP TOURS

宮崎支店

〒880-0805

宮崎市橋通東3-1-47 宮崎プレジデントビル4階

T E L 0985-25-6111 F A X 0985-29-3010



のどをうるおすだけの
飲料ではありません。

「のどが潤いた」と言うとき、
潤いているのはのどだけではありません。
必要な水分とイオンが失われて、カラダ全体が潤っているのです。
ポカリエットは、体内の水分に近いイオンバランス。
カラダに必要な水分と電解質をすばやくとり戻します。
カラダのことを考えれば、暑きにはポカリエット。

イオンサプライ ポカリエット
POCARI SWEAT

製品に関するお問い合わせ先:大塚製薬お客様相談室 0120-550708
<http://www.otsuka.co.jp/poc/>



感動のそばに、いつも。

おいしい空気に
出会うのも旅。



JTB九州は「スポーツランドみやざき」を応援します！

JTB 九州宮崎支店

JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部
JTB協定タクシー連盟宮崎会

〒880-0805

宮崎県宮崎市橘通東 4-7-28

電話／0985-29-3511

ファックス／0985-27-1124

<http://www.jtb.co.jp/shop/miyazaki/>



日本旅行の 新しい旅のテーマです

「自然にやさしい旅」
「体にやさしい旅」
「こころにやさしい旅」



株式会社日本旅行 宮崎支店

観光庁長官登録旅行業第2号

〒880-0812 宮崎県宮崎市高千穂通り1-6-35 住生命宮崎ビル1F
TEL:0985-24-5255 FAX:0985-24-9162
営業時間:平日 9:30~17:30 土・日・祝休業



旅行業公正取引
協議会 会員



(社) 日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員